



「住みたい、住んでよかった」
 と思える町を目指して
 施政方針2018

本年度の町の取り組みを紹介します。

P3 平成30年度 施政方針

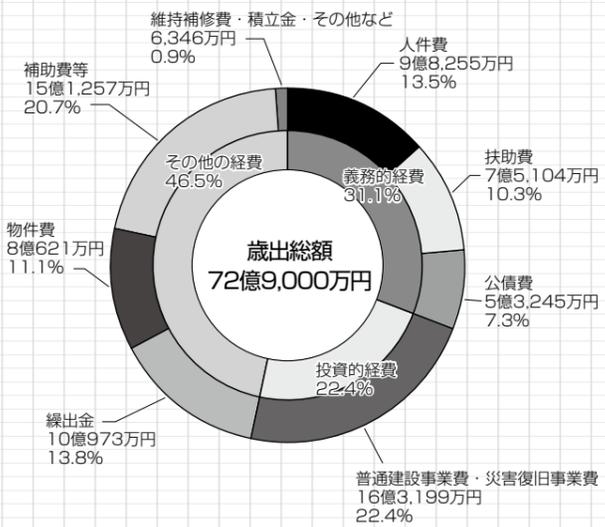
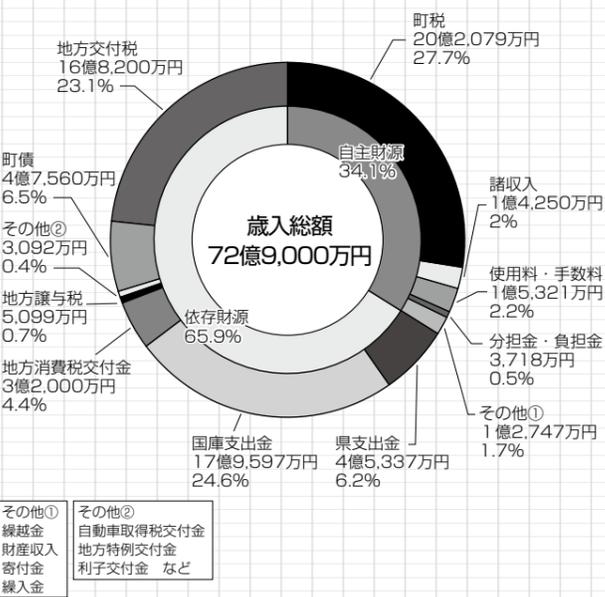
P4 平成30年度 予算

P5～8 主要事業紹介



総額137億円

一般会計 総額 72億9,000千万円



【特別会計】

会計名	予算額	前年度と増減率
国民健康保険特別会計	22億4,900万円	△12.3%
介護保険特別会計	17億4,900万円	△0.9%
後期高齢者医療特別会計	2億450万円	6.3%
水道事業会計	収益的支出 (3条)	2億4,128万円 △5.2%
	資本的支出 (4条)	7,165万円 △20.1%
下水道事業会計	収益的支出 (3条)	8億8,451万円 2.3%
	資本的支出 (4条)	9億7,717万円 △32.4%

平成30年度

予算

平成30年度の当初予算が3月議会で可決されました。特別会計を含めた全会計の予算規模は、総額で136億6,710万円となり、平成29年度当初予算に比べて8億8,038万円の増額となっています。また、一般会計の予算規模は、総額72億9,000万円で平成29年度当初予算に比べて16億7,900万円の増額となっています。平成29年度の当初予算が、町長の改選を踏まえ義務的経費を中心に編成した骨格予算だった影響もあり平成30年度予算は増額となっています。

歳入

には、自主財源と依存財源があります。町税など、町が自主的に収入することができる財源(自主財源)は24億8,115万円で、全体の34.1%(前年度当初予算に比べ6.1%増)です。そのほとんどが町民の皆さんの納める町税です。

国や県から、定められた額の交付を受けて割り当てられた収入(依存財源)が48億885万円で、全体の65.9%(前年度当初予算に比べ47%増)を占めています。主なものは、地方交付税、国・県支出金です。

歳出

は、人件費、扶助費(児童・老人・障がいなどの福祉に使われる経費)、公債費(借金の返済)など、義務付けられている経費(義務的経費)が、22億6,604万円で全体の31.1%(前年度当初予算に比べ1.8%減)を占めています。

道路や施設建設に使われる経費(投資的経費)は、16億3,199万円で全体の22.4%(前年度当初予算に比べ2,479%増)となります。大幅に増加している要因は、平成29年度当初予算が骨格予算であったためです。

その他の経費は、33億9,197万円で全体の46.5%(前年度当初予算に比べ4.7%増)を占めます。平成30年度は、前年度の骨格予算の影響もあり、補助費などが増加しています。

特別会計とは、特定の収入をもって特定の支出にあてるような事業について、その収支を明確にするため一般会計と区別して設けられるものをいいます。

平成30年度

施政方針

(原文抜粋)



【施政方針とは】
政治を行うときの方向。
政治の目的・方法・理念

「住みたい・住んでよかった」と思える、オンリーワンの自治体を目指して――

〔合併60周年を飛躍の契機に〕

平成29年は、長洲町が旧長洲町と旧復興村が合併して60年という記念すべき年として、多くのイベントを開催し、議員の皆様や町民の皆様と一緒に60年という大きな節目を祝うことができたと感じております。今後、この60周年を一つの契機に、議員の皆様並びに町民の皆様や各種関係団体の皆様とともに、70年、80年と長洲町のさらなる発展に向け、全身全霊でまちづくりに取り組んでまいります。

謝申し上げます。平成30年度におきましても、これらの芽をさらに成長させ、それぞれの分野で大きく花が開くよう、各種事業に取り組んでまいります。

〔社会保障費の伸びが財政を圧迫〕

現在の経済情勢に目を向けますと、アベノミクスの効果による株価の上昇に後押しされ、大企業を中心に景況感の改善が見られ、有効求人倍率はバブル期を超え高水準を維持するなど、経済状況は少しずつ好転しております。しかしながら、都市部と地方ではまだまだ景気に温度差があり、日本全体を取り巻く経済状況は決して楽観できない状況であります。また、世界情勢を見ましても、拡大基調を維持しつつ

長洲町におきましても、社会保障費の増加などによる厳しい財政運営が求められる中、国の施策に基づき、第5次長洲町総合振興計画を基本に、長洲町まち・ひと・しごと創生

「住みたい・住んでよかった」と思える、オンリーワンの自治体となることを目指してまいります。そのためには、私自身が先頭に立ち、常にチャレンジ精神とスピードを持って町政運営に取り組んでまいります。

〔常に真正面から課題と向き合う〕

本町を取り巻く財政状況や社会情勢はまだまだ厳しく引き続きその解決に向けた対応が求められております。しかしながら、最も大事なことは、歩みを止めることなく、常に「チャレンジ」することです。目の前の課題に一つ一つ向き合い、真正面から取り組むことによって、必ず希望と魅力にあふれる

総合戦略に沿って、このたび予算編成を行ったところであります。

〔常に真正面から課題と向き合う〕

本町を取り巻く財政状況や社会情勢はまだまだ厳しく引き続きその解決に向けた対応が求められております。しかしながら、最も大事なことは、歩みを止めることなく、常に「チャレンジ」することです。目の前の課題に一つ一つ向き合い、真正面から取り組むことによって、必ず希望と魅力にあふれる

総合戦略に沿って、このたび予算編成を行ったところであります。



主要事業

本年度、町が取り組んでいく主な事業を紹介します

2 人と人が支え合う 希望のあるまち

ながす健康ポイント事業

332万円（福祉保健介護課）

健診の受診や、町の行事などへの参加することでポイントを付与するなど、健康づくりへの関心を高めていきます。



ながす健康ポイントカード

母子手帳アプリ構築事業 新規

32万円（福祉保健介護課）

これまでの母子手帳に加えて、妊娠中の健康管理や子どもの成長管理、子育て情報を取得できる電子母子手帳を導入します。

介護予防活動推進事業

129万円（福祉保健介護課）

介護予防活動の充実を図るため、ものづくりを通じた介護予防活動や元気アップ体操へのサプリを活用した運動機能の増進などに取り組みます。

予防接種事業

5,255万円（福祉保健介護課）

疾病の発病や重症化を防ぐため、インフルエンザや肺炎球菌などの各種予防接種の費用の一部を助成します。

子ども医療費助成事業

6,448万円（子育て支援課）

病気の早期発見、早期治療により、子どもたちが健やかな成長を図ることができるように、中学校3年生までの医療費を助成します。

子育て世代総合支援センター事業

524万円（子育て支援課）

子どもとその保護者、または妊娠している人が、母子保健や育児に関するさまざまな悩みを解決するため、相談や講座などの支援を行います。

3 地域の資源を活かす 活力のあるまち

水産業振興事業

1,487万円（農林水産課）

あさり人工種苗放流事業や干潟保全事業によるあさり資源の確保や、海苔の生産・品質の向上や後継者育成・新規就業支援に取り組みます。



干潟環境保全事業

地域商社運営補助事業 新規

800万円（まちづくり課）

町の地域産品を活用した商品の開発、販売などを行う地域商社の運用に対する支援を行います。

第二腹赤地区経営体育成 基盤整備事業（負担金）

2,810万円（農林水産課）

農業生産の基盤となる優良農地を確保し、生産の拡大と高品質化を図るため、第二腹赤地区の圃場整備を行います。

1 未来を拓く人づくりを目指す 夢のあるまち

夢の教室事業

168万円（学校教育課）

現役や元プロスポーツ選手などを講師に招き、小学校5年生、中学校2年生を対象に夢をもつ大切さを伝えます。

幼児英語教育事業

600万円（子育て支援課）

町内の幼稚園・保育所に英語指導者を派遣し、遊びながら英語を学ぶことで、幼児期からのグローバルな人材育成を目指します。

英語教育推進事業

870万円（学校教育課）

小学校1年生から4年生までの英語教育を充実させることで、幼児期から英語教育を通して一貫した教育に取り組みます。また、英語への関心を高め、英語力の向上を図るため、町内の中学1年生に英語検定の受験料の補助を行います。

子どもの放課後の居場所づくり事業 新規

2,521万円（学校教育課）

これまで放課後事業として行ってきた「放課後児童クラブ（学童保育）」、「放課後子供教室」、「長洲寺小屋学習塾」、「長洲ふるさと塾」を一体化し、子どもたちが安心して過ごせる居場所を確保し、学習やスポーツ、体験活動などさまざまな取り組みを行います。



小学校英語教育

瀬戸市子どもたちの 交流事業（モニター事業） 新規

32万円（学校教育課）

愛知県瀬戸市と、互いの地域産業や文化・歴史を通じた交流を行い、子どもたちの豊かな人間性を育てるような取り組みを行います。

児童生徒への 就学金援助 新規

69万円（学校教育課）

平等な教育の機会の提供を目的に、平成31年度入学予定の新1年生を対象に入学準備金を支給します。

腹栄中学校屋上防水 塗装工事事業（設計業務） 新規

560万円（学校教育課）

子どもたちの良好な教育環境の整備を図るため、腹栄中学校校舎屋上の防水塗装工事の設計を行います。

道路整備事業

9,535万円（建設課）

- 町道などの各路線の整備を行います。
- ・「赤田・上沖洲線（宮崎区内）」設計業務
- ・「上沖洲・鷲巣線（向野区内）」用地測量
- ・「折地・向野線（折地区内）」道路改良
- ・「向野・平原線（平原区内）」道路改良、舗装
- ・「高浜・赤田線（葛輪区内）」道路舗装

- ・清源寺地内用地測量（清源寺区内）
- ・海岸道線取付舗装工事（宝町区内）
- ・よけの上線道路改良、舗装（建浜区内）
- ・都市計画道路「長洲・玉名線」街路事業（新山区内）（負担金）

地域公共交通活性化再生事業

1,703万円（まちづくり課）

町民の皆さんの移動手段のひとつであるきんぎょタクシーを継続して運行し、安全で気軽に利用できる体制を作ります。



きんぎょタクシー

道路補修・安全施設修繕等事業

2,700万円（建設課）

道路の白線設置やカラー舗装、ガードレールの設置を行うなど、地域住民が安心して利用・通行できる道路の維持管理を行います。

6 みんなとともに未来へ つなぐ協働のあるまち

地域おこし協力隊事業 新規

360万円（まちづくり課）

地域おこし協力隊を都市部から雇用し、地域おこしの支援や町の情報を発信するプロモーション活動を行います。

長洲町地域創生推進事業

510万円（まちづくり課）

各行政区の活動に対する支援を行います。また、行政区が地域の維持・発展に自らチャレンジする取り組みに対する支援も行います。

情報発信事業

272万円（まちづくり課）

必要な情報を探しやすく、見やすいように、町ホームページのシステムを更新し、リニューアルを行います。
また、長洲町を応援してくれる人を「ながすアンバサダー」として任命し、さまざまな場所で町の魅力を発信してもらい、長洲町のPRを図ります。

庁舎エレベーター整備事業（設計業務）

新規

358万円（総務課）

役場庁舎を訪れる人が快適に利用できるように、庁舎エレベーター設置に伴う工事の設計を行います。

長洲町男女共同参画推進事業

36万円（総務課）

男女がともに活躍できる環境をつくるため、男女共同参画講演会の開催や研修会への参加費の助成、優良企業への表彰などを行います。



平成29年度優良企業表彰

養魚振興事業

93万円（農林水産課）

新品種「ながす羽衣琉金」をはじめ、長洲金魚の安定生産、ブランド化を図るため、引き続き、金魚養殖業調査研究事業に取り組みます。



ながす羽衣琉金

金魚サミット 新規

288万円（農林水産課）

金魚を通じたまちづくりとして、町のシンボルである金魚をテーマとしたイベント「きんぎょサミットinながす」を開催します。

4 安心して生活できる 安全のあるまち

地方消費者行政活性化事業

201万円（総務課）

大牟田市・荒尾市・南関町と消費者相談窓口の広域連携などを通して、利便性の向上、相談体制の強化を引き続き図っていきます。

防犯カメラ設置事業

229万円（総務課）

行方不明者や徘徊者の早期発見、犯罪の防止などのために防犯カメラを増設し、皆さんの安全確保を図ります。



防犯カメラ

防犯灯整備事業

234万円（総務課）

行政区が管理する防犯灯の新規整備や蛍光灯からLEDへの取り換えに対する費用の一部支援を行います。

5 快適な暮らしができる 安心のあるまち

街路灯等整備事業

2,000万円（まちづくり課）

長洲駅南側の「長洲駅・海岸線」や、名石浜緑地公園内遊歩道などへLED街路灯の整備を行います。

宮野地区地域優良賃貸住宅整備事業

12億2,657万円（まちづくり課）

子育て世代をはじめ、幅広い世代の定住促進を図るため、宮野地区地域優良賃貸住宅を整備します。
（本年度、155戸整備予定）



宮野地区地域優良賃貸住宅 完成イメージ

空家対策事業

875万円（まちづくり課）

空家の適正管理に対する取り組みとして、空家解体や空家バンク登録物件への補助を行います。